

**案件1 第3次健康都市いずみ21計画における達成目標の進捗について**

- ・健康寿命は計画策定時から上昇も、大阪府自体が低値のため、引き続き取り組みが必要。
- ・むし歯のない子どもの割合は、現状値でみると目標値を達成。その他、数値で出せる指標についても、概ね改善傾向。胃がん検診受診率、ヘルスアップサポーターの活動の場については未達成。コロナ禍での対面健診控え、活動自粛等の影響と推察。

**案件2 第3次健康都市いずみ21計画における各機関等の取り組み予定について**

- ・令和5年度における行政の主な取り組み予定について報告。令和5年6月2日に開催した健康都市いずみ21計画庁内連絡会議にて出された各課の感じる市民の傾向について報告。また、各団体及び市民委員より活動を報告。(下表参照)

**案件3 健康日本21(第三次)について**

- ・国から示されている二次計画の評価と課題、次期計画の方向性について報告。

**・各機関からの意見の主な要約**

	意見	その後の対応
1	医師会 ①データを集約し、心不全の早期発見等につながる結果になれば、心不全の心機能バイオマーカーを特定健診の項目に追加してもらいたい。 ②独居老人が多く自治会への参加が少ないなか、参画団体、すべての地域社会が孤独・孤立という問題に目を向ける必要がある。医療としても社会的処方という取り組みも行っていきたい。	①令和6年度から、特定健診を和泉市内医療機関で受ける市民のうち、50歳から74歳の人で、基礎疾患や症状のある人は医師の判断により、「市追加検査」として心不全(BNP)検査を実施予定です。 ②庁内連絡会議において課題を共有し、関係機関等との連携を図ります。
2	歯科医師会 小学校3年生以上にブラッシング指導を実施。歯磨き指導をするだけでなく、子どもたちに「口腔の管理は全身の管理に繋がっている」という講習を教える。「歯が悪ければ全身が悪くなる」と認識してもらうことで、子どもたちが成人になり、子どもができた時に子どもの口腔管理をしっかりできるようになっていくと考えている。	健康都市いずみ21計画においても、う歯予防のみでなく口腔ケアが全身疾患に影響していることをあらゆる機会を通じ普及啓発を行っています。
3	薬剤師会 ①薬剤師会で今年度中にホームページの立ち上げ予定。薬剤師会会員間の情報共有を密にすること、市民に対しても健康増進に関する情報提供ができれば良いと考える。 ②在宅対応薬局一覧の冊子について、市民の目に届く場所に配布したい。内容を更に充実させ、特に医療的ケア児やその家族にも目を向けられるような内容にすることに力を入れていきたい。	①②庁内関係各課や和泉市健康づくり推進市民会議関係団体への情報共有が可能です。
4	町会連合会 ①たばこの問題については、色々な場所で喫煙ルールができていっているので確実に推進していきたい。 ②令和2年度から町会自治会活性化委員会、令和5年度からは町会自治会改革検討委員会を立ち上げ活動予定。色々な問題が抱えられているため、行政とも相談し、長いスパンで5、6年の計画を立て随時、問題解決を行っていこうと考える。 ③校区長の期間が短く、何もわからずに終わってしまう、それを何とかして解決したい。	①令和2年4月に「改正健康増進法」及び「大阪府受動喫煙防止条例」が全面施行され、たばこはマナーからルールへととなり、本市においても取り組みを進めているところです。引き続き推進を図ります。 ②自治会組織は本計画においても地域力は健康を支える重要な分野であり、自治会活動を支える公助について関係部署とも連携を図ります。 ③委員の委嘱にあたり、会議の趣旨や経過、課題などについて事前説明を行い、有意義な会議運営に努めます。
5	老人クラブ連合会 家に閉じこもらないで健康寿命を延ばすための各種行事を実施予定。資金力の不足、会員の減少、役員のみ手がない。	老人クラブ連合会の事務局や関係機関との調整を図ります。
6	社会福祉協議会 町会自治会を頼りに、横のつながりを中心に情報発信などを行っていたが、それだけでは今の社会では不十分であると自覚。SNSや「見える」見ただけでしっかりとアピールできるようなものを意識し、誰でも参加できるようなもの、スポーツや文化をテーマにした縦割りの部分で興味を持って参加できるものなど、活動運営の幅を持たせたもので展開を考えている。	多様化する社会のニーズに合わせた様々な活動を支援します。
7	スポーツ推進委員協議会 スポーツ推進協議会での行事も活発にできる予定を組んでいるところ。クロスカントリー、ニュースポーツ大会等のイベントを実施予定。「スポーツフェスティバル」9月号広報で改めて掲載するが、周知のご協力をお願いしたい。	担当課とも情報共有を図り、広報掲載を主軸とした案内を実施され、35名の参加がありました。
8	地域活動栄養士会 ①SNSの活用を力を入れており、幅広い年齢層に発信ができた。SNSから講話などの依頼を受けて、次の1月までの予定は入っており、随時受付をしている。健康まつりでも各年齢層に応じた知識を活かしその部門のブログで対応して実施したい。 ②オンライン上で何か発信できるお話しみたいなものをやっていたら。他団体と組ませてもらうなど、なにか周知していけたらいいなと考えている。	ご希望に応じ、関係団体等との調整をはかります。
9	食生活改善推進協議会 ①市がどういった食育の情報発信をしているかわかるので、健診等で配布している資料をもらいたい。 ②高齢者や男性の参加、65歳で退職してから料理をしようという方も増えてきていると感じており、時代の流れを考えつつ活動をしていかなければならないと感じている。	①母子保健事業で保護者向けに配布している食育に関する資料を提供しました。また、随時、管理栄養士が活動支援や相談に応じています。 ②ニーズに応じた活動を支援します。
10	和泉保健所 ①VOSメニューを提供してくれるお店を増やす取り組みをしているが、なかなか登録数が増えてこないという現状。「VOSメニュー」を提供するお店があることを見たり、宣伝したりしてほしい。 ②市役所新庁舎のレストランでもVOSメニューを提供してほしい。	①VOSメニュー提供店舗の情報が普及することで、健康的な食生活習慣につながりやすくなることから、あらゆる機会に情報提供を図ります。 ②指定管理事業者にて、メニュー提供の強制はできないが、健康的な食事の提供は生活習慣病予防の観点からも重要です。事業者への情報提供を支援します。
11	市民委員 ①個人ではスキルを深め、定例会でひろげ、地域社会に広めることで将来の子どもたちに健康の贈り物ができたらいいなということでヘルスアップサポーターとして健康づくり活動をしている。 ②当会議における参画団体の取組み情報を、インテリジェンス情報として、幅広い形で市民へのメッセージとして広報することを願う。	①引き続き、ヘルスアップサポーターの養成、活動支援を行い、地域力の向上を図ります。 ②庁内関係部署との連携や和泉市民健康まつりなどのあらゆる機会を活用し情報発信を図ります。
12	副市長 ①会議で出た質問や意見については、全て網羅し、次回の会議冒頭にはくまなく回答するような会議を目指していきたい。 ②次期計画策定にあつては、和泉市ならではのことを盛り込んだ策定方針をとても重要視しており、活発な議論の上、計画を作っていくべきだと思いたい。現在、市長は「和泉市をプラチナタウンにしたい」という目標がある。 ③今回、代表の皆さま、専門職の皆さま方が様々な活動をしていることがよく認識できた。一方、こうした活動が隔々まで行き渡るには担い手不足が課題。支える側と支えられる側の二元論ではこの問題は解決しえないところに来ている。支えられる側が時に支える側に回る等、支えられることが支えることでもあるように二元論ではなく、一元化、一体化をし、支えあつて作っていく社会を築かなければならないと考える。支える側がこれまで支えられる側をより良く生きることが目標であったが、これからは支える私たちが「光輝いて支えることは素晴らしい」と支える側に回りたいと思えるよう、雰囲気や文化が和泉市にできれば良いと考える。 ④策定方針に話に戻るが和泉市の新計画には、和泉市ならではのロマンを盛り込むことによってより良い計画を作成したいと考える。	①会議録を作成し、各会議では冒頭に振り返りを行います。 ②④令和6年度に第4次健康都市いずみ21計画策定予定であり、骨幹となる策定方針を作成しています。計画策定に当たっては、学識経験者や各分野の専門性を生かす団体などから構成する検討委員会を設置し、活発な議論を重ね策定します。 ③課題を整理し目標を設定するとともに、ライフステージ別の取り組みや、役割別(市民、地域・団体、市)の取り組みなど、次期計画策定へ反映し推進を図ります。